

各位

上場会社名 アートグリーン株式会社  
 代表者 代表取締役社長 田中 豊  
 (コード番号 3419 名証ネクスト)  
 問合せ先責任者 常務取締役 芝田 新一郎  
 (TEL 03-6823-5926)

## 2026年10月期第2四半期(中間期)連結業績予想と 実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2025年12月12日に公表いたしました2026年10月期第2四半期(中間期)連結業績予想(2025年11月1日～2026年4月30日)と、本日公表の実績値との間に差異が生じたので下記の通りお知らせいたします。

### 1. 2026年10月期第2四半期(中間期)連結業績予想数値と実績値の差異 (2025年11月1日～2026年4月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,288	10	6	1	0.96
実績値 (B)	1,366	24	24	16	14.34
増減額 (B-A)	77	13	18	15	
増減率 (%)	6.0	136.3	307.4	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2025年10月期中間期)	1,282	7	4	△0	△0.03

### 2. 差異の理由

当中間期累計期間の連結業績につきまして、売上高については、フューネラル事業では葬儀の小型化進んでいる影響により生花の利用が縮小していることから前年同期比で減少したものの、フラワービジネス支援事業では3～4月の年度替わりによる胡蝶蘭贈答の受注件数、またオフィス内の緑化装飾の件数がそれぞれ増加したことにより、予想を上回る結果となりました。

また、上記の通り売上高が増加したこと、及び3～4月の胡蝶蘭需要期に、販売需要に対する自社生産製品の供給がスケジュール通り行われ、売上原価の上昇を抑えられたことにより、各段階利益において予想を上回る結果となりました。

### 3. 通期業績予想について

通期の連結業績予想については、中東情勢による原油供給不足懸念の影響で、資材の価格や輸送費等の値上げによる売上原価および販売費の上昇が見込まれることと、中間期累計期間の連結業績を勘定し、2025年12月12日に公表しました通期連結予想から変更はございません。

以上